

4 費目別指数の動き

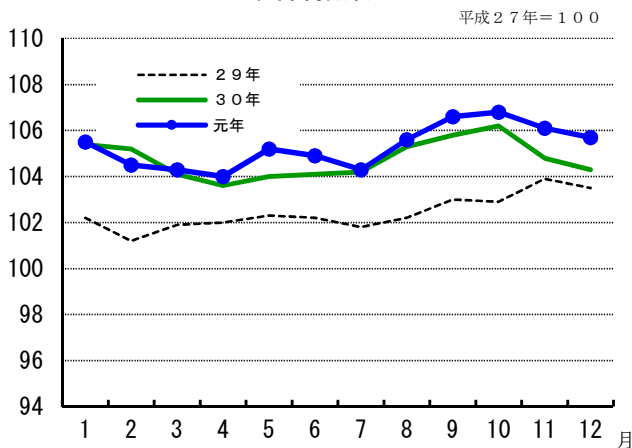
(1) 食料

年平均指数は105.3となり、前年に比べ0.5%の上昇となった。

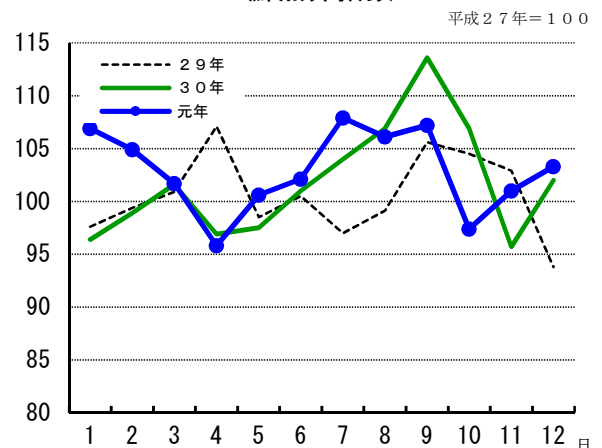
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が1.1%の上昇、生鮮野菜が11.1%の下落、生鮮果物が1.5%の下落となり、生鮮食品全体では5.0%の下落となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は0.3%の上昇、魚介類は1.8%の上昇、肉類は0.5%の上昇、乳卵類は2.0%の上昇、野菜・海藻は7.0%の下落、果物は1.4%の下落、油脂・調味料は0.1%の下落、菓子類は1.3%の上昇、調理食品は1.6%の上昇、飲料は0.2%の下落、酒類は0.2%の下落、外食は3.7%の上昇となった。

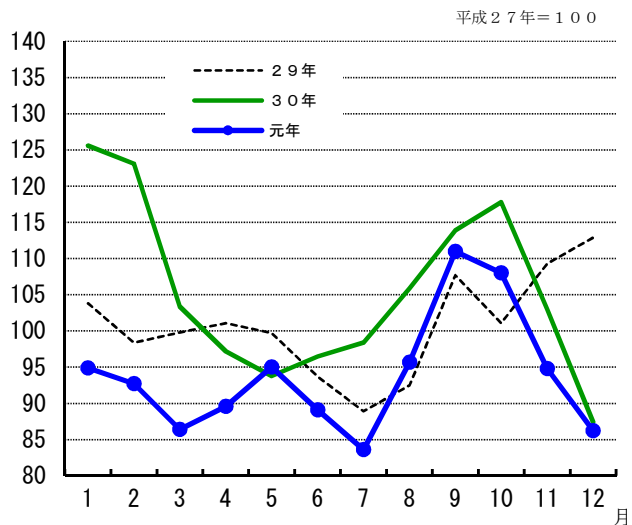
食料指数



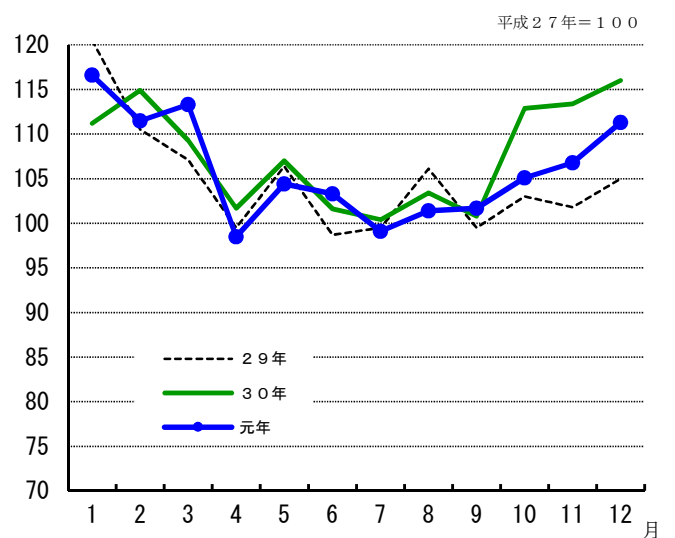
生鮮魚介指数



生鮮野菜指数

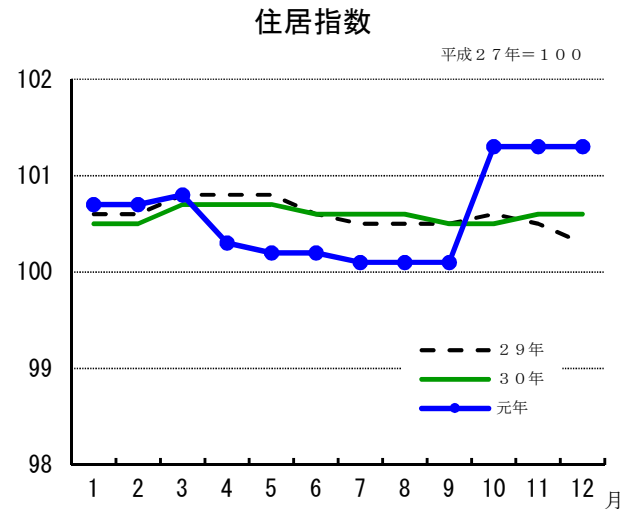


生鮮果物指数



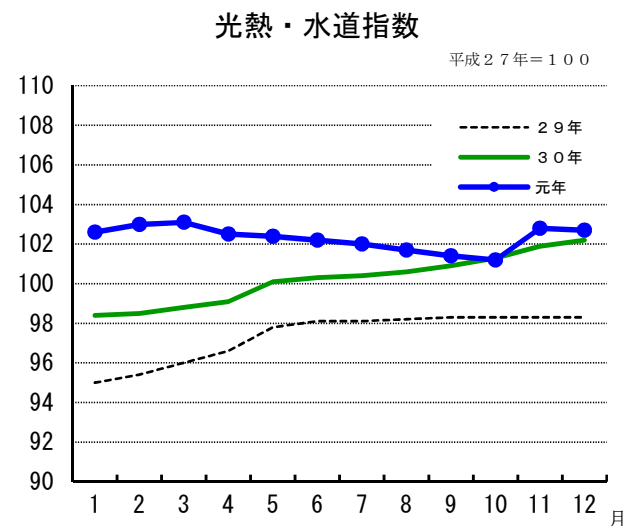
(2) 住居

年平均指数は100.6となり、前年と同水準となった。内訳をみると、家賃は0.7%の下落、設備修繕・維持は3.9%の上昇となった。



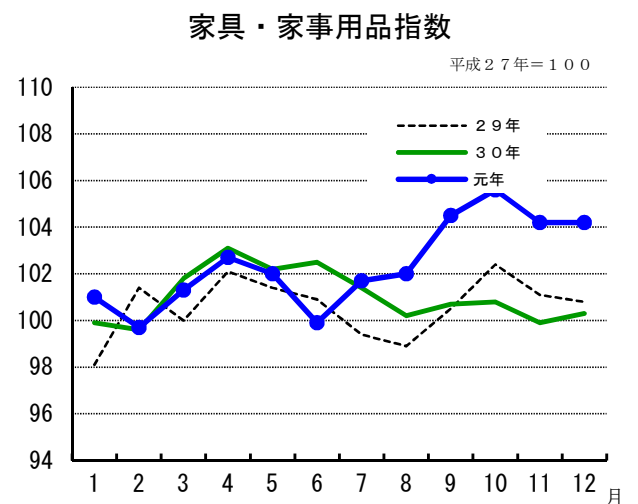
(3) 光熱・水道

年平均指数は102.3となり、前年に比べ2.1%の上昇となった。内訳をみると、電気代は2.7%の上昇、ガス代は2.0%の上昇、他の光熱は8.8%の上昇、上下水道料は0.3%の上昇となった。



(4) 家具・家事用品

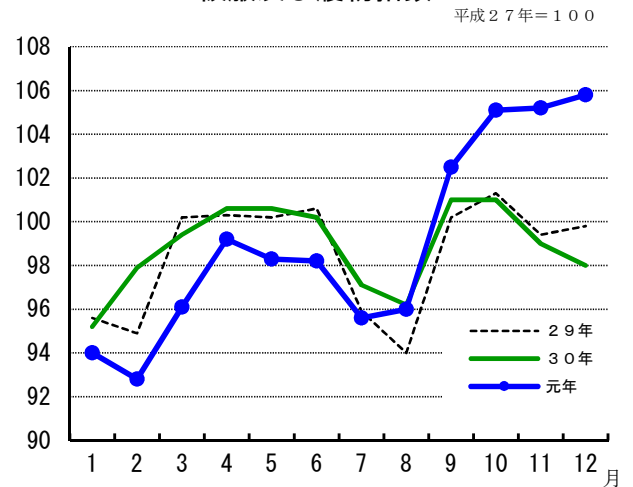
年平均指数は102.4となり、前年に比べ1.3%の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は1.4%の上昇、室内装備品は3.4%の下落、寝具類は4.6%の上昇、家事雑貨は0.7%の下落、家事用消耗品は3.8%の上昇、家事サービスは0.9%の上昇となった。



(5) 被服及び履物

年平均指数は99.1となり、前年に比べ0.2%の上昇となった。内訳をみると、衣料は0.3%の上昇、シャツ・セーター・下着類は1.1%の下落、履物類は1.4%の上昇、他の被服類は1.7%の上昇、被服関連サービスは1.5%の上昇となった。

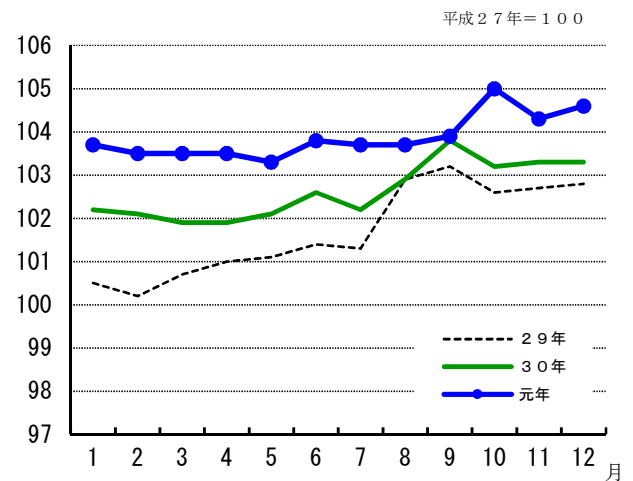
被服及び履物指数



(6) 保健医療

年平均指数は103.9となり、前年に比べ1.2%の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は1.1%の下落、保健医療用品・器具は6.6%の上昇、保健医療サービスは1.0%の上昇となった。

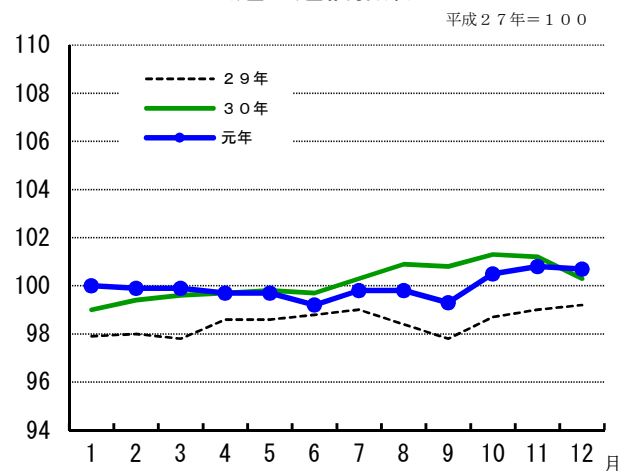
保健医療指数



(7) 交通・通信

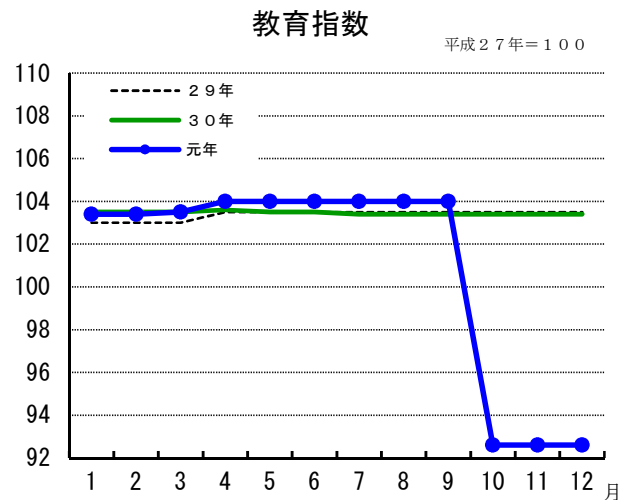
年平均指数は100.0となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、交通は0.6%の上昇、自動車等関係費は1.0%の上昇、通信は3.3%の下落となった。

交通・通信指数



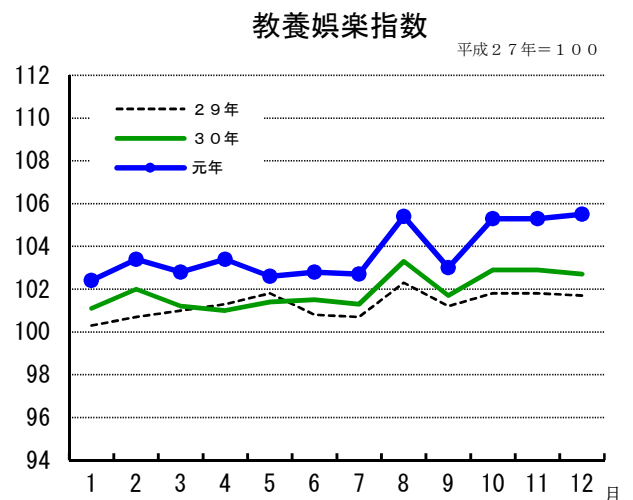
(8) 教育

年平均指数は101.0となり、前年に比べ2.4%の下落となった。内訳をみると、授業料等は4.0%の下落、教科書・学習参考教材は0.3%の上昇、補習教育は2.5%の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は103.7となり、前年に比べ1.8%の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は0.7%の上昇、教養娯楽用品は2.2%の上昇、書籍・他の印刷物は1.6%の上昇、教養娯楽サービスは1.7%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.1となり、前年に比べ0.5%の下落となった。内訳をみると、理美容サービスは0.5%の上昇、理美容用品は0.7%の上昇、身の回り用品は2.9%の上昇、たばこは6.4%の上昇、他の諸雑費は3.2%の下落となった。

